10th Anniversary
10年の歩みに感謝をこめて
長野市芸術館
NAGANO CITY ARTS CENTER

長野市芸術館
開館10周年記念事業

東京フィルハーモニー交響楽団

特別演奏会

世界的巨匠が長野で振る

哀愁のロマンチシズムと圧倒的なサウンド!

© 上野隆文

世界の頂点を極めた孤高の鬼才
ミハイル・プレトニョフ 指揮

髙木竜馬 ピアノ
高い技巧と透明感あふれる音色を併せ持つ新時代ピアニスト

ラフマニノフ
ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 Op.18

チャイコフスキー
交響曲 第4番 ヘ短調 Op.36

2026.11/14 土 14:00開演（13:15開場） 長野市芸術館メインホール

S席 ¥10,000 A席 ¥8,000 B席 ¥6,000 C席 ¥4,000 [全席指定・税込]

チケット発売 7月4日（土）10:00～

- 長野市芸術館チケットオンライン インターネット予約 https://www.nagano-arts.or.jp/ ▶▶▶
- 長野市芸術館チケットセンター 窓口・電話 026-219-3191 [10:00～19:00/火曜定休]
- ローソンチケット：https://l-tike.com（Lコード：34687）
- e+（イープラス）：https://eplus.jp

\SNSもやってます!!/

長野市芸術館チケットオンライン

●出演者・曲目・その他に変更が生じる場合がございます。●不可抗力による公演中止の場合を除き、本券の払い戻し、券種の変更、他公演との交換はいたしません。●未就学児の入場はご遠慮ください。●車椅子席をご希望の方は、長野市芸術館チケットセンター（TEL：026-219-3191/10:00～19:00 火曜定休）へお問い合わせください。●駐車場（有料）には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

主催 一般財団法人長野市文化芸術振興財団　共催 SBC信越放送

東京フィルハーモニー交響楽団は、日本を代表するオーケストラとして国内外で活躍を続けています。今回演奏されるラフマニノフとチャイコフスキーは、東京フィルが長年培ってきた豊かな響きとダイナミックな表現力、その真骨頂を味わえるプログラムです。

指揮を務めるミハイル・プレトニョフは、1978年にチャイコフスキー国際コンクールで優勝を果たし、世界的なピアニストとして名声を築く一方、指揮者としても深い精神性と緻密な音楽づくりで高く評価され、世界中の音楽家から厚い信頼を寄せられています。また、東京フィルの特別客演指揮者を務めており、同楽団との厚い信頼関係から生まれる鮮やかな音楽表現による演奏は、多くの聴衆を魅了し続けています。

ソリストには、アニメ「ピアノの森」の演奏でも注目を集めたピアニスト・髙木竜馬が登場。ラフマニノフ《ピアノ協奏曲第2番》は、作曲家自身が深い苦悩を乗り越えた先に生み出した傑作として知られています。甘く切ない旋律と壮大なスケールを併せ持ち、クラシックの枠を超えて愛され続ける名曲です。
そして、プレトニョフが長年深く向き合ってきた作品が、チャイコフスキーの交響曲第4番。運命に翻弄されながらも前へ進もうとする人間の姿を描いたこの交響曲を、圧倒的なエネルギーと緻密な音楽づくりによって描き出します。

ラフマニノフとチャイコフスキー、二人の作曲家が遺した壮大な音楽世界を、世界最高峰の演奏で体感できる貴重な機会となります。クラシック・ファンはもとより、オーケストラが初めての方も、心を揺さぶる名曲の数々を、ぜひ会場でご体感ください。

長野市芸術館10周年を彩るまたとない特別な時間を、どうぞお聴き逃しなく。

世界最高峰の音楽、心を揺さぶる名曲を長野で——。
プレトニョフ&東京フィル、初の地方特別公演

ミハイル・プレトニョフ
指揮

Mikhail Pletnev,
conductor

プレトニョフは、ピアニスト、指揮者、作曲家、とそれぞれの分野において並外れた才能を発揮し、世界中の観客を魅了している芸術家である。1957年、音楽家の両親のもとロシアのアルハンゲリスクに生まれ、幼少の頃から音楽に非凡な才能を示す。カザンで育ち、13歳で中央音楽院、1974年モスクワ音楽院に入学。ヤコフ・フリエール、レフ・ヴラセンコに師事。1978年、21歳でチャイコフスキー国際コンクールのゴールド・メダルおよび第1位を獲得。これにより早くも世界的に認められる存在となった。驚くべき技巧、深い知性に裏づけられた演奏、完璧にコントロールされた美しい音色で、カリスマ的人気を誇る現代最高のピアニストの一人として活躍。1988年、ワシントンで開かれた先進国首脳会議で演奏したことが、ミハイル・ゴルバチョフとの関係を築き、その後彼が自由な音楽活動を行う契機ともなった。ドレスデン国立歌劇場管弦楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団ほか数々のオーケストラを指揮。ボリショイ・オペラでの『スペードの女王』指揮で大成功を収めているほか、コンサート形式のオペラ指揮も行っている。1990年ロシア内外の個人、団体より資金を得、ロシア史上初めて国家から独立したオーケストラとしてロシア・ナショナル管弦楽団(RNO)を設立。指揮者として東京フィルハーモニー交響楽団には2003年7月に初めて客演、以来定期的に招かれ、2015年4月より特別客演指揮者に就任。2022年には新たなオーケストラ、ラフマニノフ国際管弦楽団(RIO)を創設。作曲家としては“Classical Symphony”、ジャズ組曲、ヴィオラ協奏曲、ほか数多くの作品を発表し、近年ではスティーヴン・イッサーリスのために書いたチェロ・ソナタが大成功を収めている。

髙木竜馬
ピアノ

Ryoma Takagi,
Piano

第16回エドヴァルド・グリーグ国際ピアノコンクールにて優勝及び聴衆賞を受賞し一躍世界的に脚光を浴びる。その他にも第26回ローマ国際ピアノコンクールなど7つの国際コンクールで優勝。オスロフィル、ベルゲンフィル、ウクライナ国立フィル、ウィーン室内管、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィル、東京交響楽団、日本フィル、新日本フィル、大阪フィル、大阪交響楽団、関西フィル、日本センチュリー交響楽団、京都市交響楽団、群馬交響楽団、神奈川フィル、富士山静岡交響楽団、ARKシンフォニエッタ等のオーケストラと、ハンス・グラーフ、エドワード・ガードナー、ゲルゲイ・マダラシュ、アンドレア・バッティストーニ、小林研一郎、秋山和慶、尾高忠明、高関健、佐渡裕、藤岡幸夫、沼尻竜典、下野竜也、鈴木優人、杉本優、三浦文彰等の指揮で共演。ウィーン楽友協会やシェーンブルン宮殿等の世界各地の著名なホールで演奏するなど広範な演奏活動を続けている。NHK 総合『ピアノの森』では雨宮修平メインピアニスト役で出演した他、映画『アナログ』やテレビ朝日『題名のない音楽会』、NHK E テレ『青のオーケストラ』などメディアや音楽祭への出演多数。デビューアルバムとなる『Metamorphose』をリリースし好評を博す。京都市立芸術大学専任講師に就任し後進の指導にも当たっている。

東京フィルハーモニー交響楽団
Tokyo Philharmonic, orchestra

1911年創立。日本で最も長い歴史をもち、メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。定期演奏会や「午後のコンサート」、オペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏、各地での訪問コンサートや海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。国民的番組『NHK紅白歌合戦』『クラシックTV』、2020～21年には『情熱大陸』『BS1スペシャル』などのドキュメンタリー番組にも登場。1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を、刈谷市と連携協定を結び、各地域との教育的・創造的な文化交流を行っている。

公式ウェブサイト	https://www.tpo.or.jp/
Facebook	/TokyoPhilharmonic/
X	@tpo1911
Instagram	tokyophilharmonicorchestra
Youtube	@tokyophilharmonicorchestra5039

2026年度 長野市芸術館 年間協賛パートナー　一覧

※五十音順／パートナー毎

ゴールドパートナー	(株)岩野商会、(株)角藤、(株)システックス、(株)電算、ホクト(株)、(株)本久
シルバーパートナー	(株)AOKIホールディングス、SBC信越放送、(公財)倉石地域振興財団、栗田病院、(株)ケイケンシステム、信濃毎日新聞、高沢産業(株)、(株)中嶋製作所、長野信用金庫、長野日本無線(株)、八十二長野銀行、富国物産(株)、不二越機械工業(株)、(株)マナテック、ユーグループ
ブロンズパートナー	(株)アイネット、(株)アクテック、(株)アサヒエージェンシー、朝日税理士法人、(株)旭電気商会、山田記念 朝日病院 朝日ながの病院、(株)アド・ユニティー、アベレコード、石田通信機(株)、国産大豆タルト専門店 いとおかしき、いろは堂、(株)インデックス、(株)エイプルデザイン、eternal story(株)、(株)小田切車体、オフィス・マユ、かーいんてりあ高橋、(株)柏与ビジネスセンター、(株)カナエ、金澤工業(株)、カヤバCS(株)、(株)杏花印刷、(株)共立プラニング、(株)銀乃扇、クリーニングAPA、(株)コウサカ、(株)国際社会健全育成学会、(株)コンテンツビジョン、(株)三広、三力信和水産(株)、(株)シアターワークショップ、信濃化学工業(株)、週刊長野新聞社、信越ビル美装(株)、新日本設計(株)、信陽食品(株)、鈴木土地(株)、炭平コンピューターシステム(株)、相馬商事(株)、損害保険ジャパン(株)、(株)第一包装企画、大日本法令印刷(株)、(株)タカチホ、(株)高見澤、チサングランド長野、千広建設(株)、土屋メディカル(株)、テレビ信州、デンセンホールディングス(株)、東芝ライテック(株)、東信運送(株)、長坂パロック(株)、長野朝日放送、(株)ながのアド・ピューロ、長野運送(株)、長野エフエム放送(株)、長野県経営者協会、けんしんBANK、長野県労働金庫、(一社)長野市開発公社、長野市商工会、長野證券(株)、長野商工会議所、長野テクトロン(株)、長野電鉄(株)、長野都市ガス(株)、長野美術専門学校、(株)長野舞台、(株)長野フロー、(一社)長野法人会、長野放送、NiKKi Fron(株)、日穀製粉(株)、日本ガス工事(株)、(株)ヒシヤ、フーズネットながの(株)、富士通Japan(株)、フレックスジャパン(株)、文化学園大学保育専門学校、ベイクックコーポレーション(株)、ホテルメトロポリタン長野、松代園芸、松代建設工業(株)、(株)マルイチ産商、マルコメ(株)、(株)みすずコーポレーション、ミツヤジーホーム(株)、(株)メディアライブホールディングス、(一社)メディカルチェック、(株)守谷商会、根元　八幡屋礒五郎、ヤマハサウンドシステム(株)、(株)綿内瓦工業、(株)和田正、One & Only(株)

長野市芸術館
NAGANO CITY ARTS CENTER
〒380-8512 長野県長野市大字鶴賀緑町1613番地
(長野市役所第一庁舎と同じ建物です)

公演についてのお問い合わせ：長野市芸術館　TEL:026-219-3100 [9:00～19:00 ／火曜休館]　jigyou@nagano-arts.or.jp